

# アムンディ・マーケットレポート

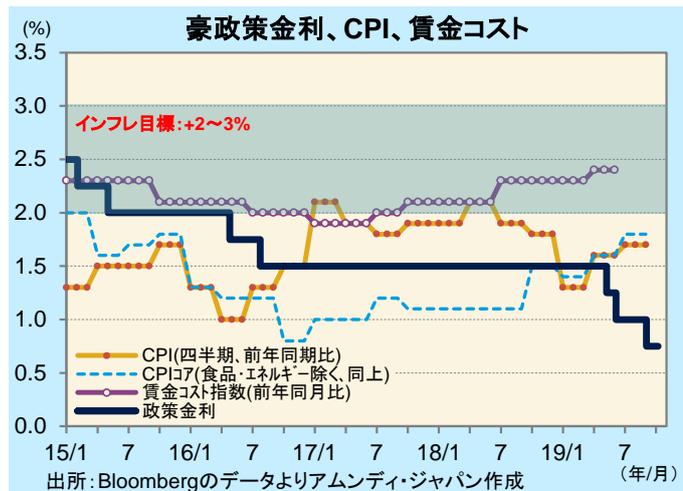
## 豪州金融政策(2019年11月)～豪ドル相場の展望

- ① 政策金利は0.75%で据え置きでした。景気下振れ回避のための金融緩和はひとまず一巡で様子見です。
- ② 豪州景気は景況感の低下で先行き不透明感が残っていますが、底堅い個人消費が下支えています。
- ③ 利下げの景気刺激効果が表面化し、市場のリスク選好が高まれば、豪ドルに追い風と期待されます。

### ひとまず様子見

本日、オーストラリア〔豪州〕準備銀行（以下、RBA）が定例理事会を開き、政策金利であるキャッシュレートを0.75%に据え置きました。景気の下振れを回避すべく、6月、7月、10月と3回の利下げ（いずれも0.25ポイント）が実施されましたが、今回はその効果の見極めのため、ひとまず様子見となりました。

この間、おおむね良好な雇用環境から、緩やかながらも賃金が増加ペースを高め、個人消費が底堅く推移しました。これを受け、CPI（消費者物価指数）がRBAのインフレ目標を依然下回りつつも、方向は上向きになってきました。また、個人消費に対する主な先行き不安材料あった住宅市況の低下にも歯止めが掛かってきています。一方、企業や消費者の景況感は、一時下げ止まりの動きも見られましたが依然として不安定であり、景気の先行き不透明感が残っています。したがってRBAも、状況によっては追加緩和を辞さない姿勢を維持しています。



### 景気刺激効果の表面化を待つ段階

豪ドル相場は、今年3回目の利下げが実施された10月1日、対円相場で一時的に1豪ドル71円台を付けましたが、一方で景気下振れリスクも減退したと見方から、その後は買い戻しが優勢となり、10月下旬には75円台まで上昇しました。

これまでの利下げで、景気刺激効果が表れるのは年末以降になると見込まれます。景気下振れ懸念で追加利下げ観測が強まるリスクは依然としてあるため、このまま豪ドルの上昇傾向が続くにはまだ力不足です。しかし、景気実態の改善が現実になってくれば、豪ドルにとって支援材料になると考えられます。また、世界的に金融緩和が進められている中で、グローバルな面でも景気下振れリスクは徐々に減退していると見られます。景気底打ち期待で市場がリスク選好を高めると、資源国通貨の一環として豪ドルが注目され、投資資金を集めて上昇する展開も期待されます。



## 本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。  
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。  
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

## 投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

## リスクについて

- ・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<R1911010>